

ぼくのエリ 200歳の少女 (2008)

LAT DEN RATTE KOMMA IN
LET THE RIGHT ONE IN

メディア 映画

ジャンル ホラー ロマン스 サスペンス

製作国 スウェーデン

色彩 Color

時間 115分

初公開日 2010/07/10

公開情報 ショウゲート

映倫 PG12

【キャッチコピー】

怖ろしくも、哀しく、美しい12歳の初恋

【解説】

ヴァンパイアの恐怖や哀しみと同時に、孤独な少年の切なくも美しい初恋を繊細に描ききり世界中で絶賛の嵐が巻き起こったスウェーデン発の感動ヴァンパイア・ムービー。いじめられっ子の少年が、ひよんなことから恋に落ちてしまったヴァンパイアの少女と辿る哀しい運命の行方を、鮮烈な残酷描写を織り交ぜつつ静謐かつ詩的なタッチで綴ってゆく。ヨン・アイヴィデ・リンドクヴィストのベストセラー『モールス』を原作者自らの脚色で映画化。主演はカーレ・ヘーデブラン、リーナ・レアンデション。監督は、本国スウェーデンでテレビを中心に活躍してきたトーマス・アルフレッドソン。

ストックホルム郊外の小さな町。集合住宅に母親と2人で暮らす12歳の少年オスカー。同級生のイジメに苦しみながらも、誰にも助けを求めることが出来ず、ただ復讐を夢想してはじっと堪え忍ぶ日々。そんなある晩、彼はひとりの謎めいた少女と出会う。彼女は、オスカーの家の隣に父親と引越してきたばかりの少女エリ。やがて、同じ12歳だという彼女と毎晩のように言葉を交わすようになり、自分よりも大人びた彼女に次第に心惹かれていくオスカー。その頃、町ではおぞましい殺人事件をはじめ奇妙な出来事が立て続けに起こり、住民の間に不安が広がっていた。そんな中、エリが少女の姿のまま200年も生きているヴァンパイアだという衝撃の事実を知ってしまうオスカーだったが…。

【クレジット】

監督	トーマス・アルフレッドソン	Tomas Alfredson	
製作	ジョン・ノードリング カール・モリンデル	John Nordling Carl Molinder	
原作	ヨン・アイヴィデ・リンドクヴィスト	John Ajvide Lindqvist	『モールス』（ハヤカワ文庫刊)
脚本	ヨン・アイヴィデ・リンドクヴィスト	John Ajvide Lindqvist	
撮影	ホイテ・ヴァン・ホイテマ	Hoyte Van Hoytema	
美術	エヴァ・ノーレン	Eva Norén	
編集	トーマス・アルフレッドソン ディノ・ヨンサーテル	Tomas Alfredson Dino Jonsäter	
音楽	ヨハン・セーデルクヴィスト	Johan Soderqvist	
出演	カーレ・ヘーデブラン リーナ・レアンデション パール・ラグナー ヘンリック・ダール	Kare Hedebrant Lina Leandersson Per Ragnar Henrik Dahl	オスカー エリ

